

# 金銀糸の新たな需要の創出による 伝統産業の維持向上

株式会社 寺島保太良商店

専務取締役 寺島 大悟さん



寺島 大悟さん

## 市場縮小で高まった新商品の必要性

明治30（1897）年に創業した寺島保太良商店は、金銀糸の製造、卸、販売を手掛けています。同社の金銀糸は、祇園祭をはじめとした日本各地の祭り幕や、大相撲の化粧回し、学校旗や大会旗などの刺繍、歌舞伎、神楽、能などの舞台衣装、西陣織の帯地などに用いられてきました。素材に本金箔を使用し、昔ながらの伝統工芸の手法を用いて製造された本金糸は、非常に付加価値の高い商品です。

しかし近年、伝統工芸を用いた商品の市場は縮小する一方です。それに伴い、技術を継承する職人の不足も深刻になってきました。そこで、新しいニーズを生み出し、新市場を開拓するために同社が目指したのは、本金糸を普段の生活に使えるものに取り入れた新製品の開発です。

着物に施されるのは繊細な金銀糸刺繍が主流なので、和装に親しんできた顧客層でも、祭り幕や化粧回しなどに使用されてきた迫力のある刺繍技法はあまり身近で目にする機会はありません。この大胆で伝統的な金銀糸の装飾とともに、伝統工芸のさまざまな技術、モダンなセンスも取り入れて、今までになかった「和」のテイストの商品が提案できると専務取締役の寺島大悟さんは考えました。新商品の候補になったのは、帽子、パスポートケース、携帯ストラップなどです。こうして同社による初めての新製品開発がスタートしました。



純金箔を使用した本金糸

## 金銀糸を取入れた身近なアイテムを提案

商品は1点ずつの手作りとなるため、顧客の好みに応じたセミオーダーシステムを採用しました。主力商品であるハンチング帽は、純金刺繍のデザインを6種類のなかから選び、ろうけつ染めの麻や皮革の生地と組み合わせます。純金刺繍のボリュームや生地の種類によって、7万円台、5万円台、4万円台の3つの価格帯に分けてサンプルを作りました。

パスポートケースは、西陣で織り上げた金銀糸の生地

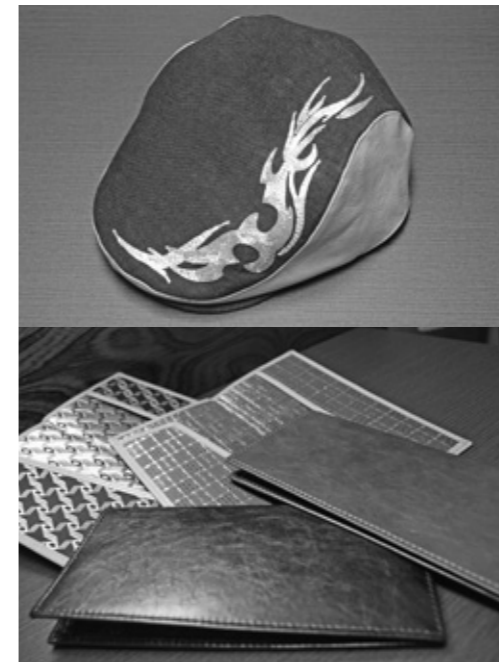
## 伝統製品の活用

が特長です。黒とエンジの2色の生地と、2種の織り柄、キャメル、チョコ、黒の3色の皮革のなかから組み合わせを選んでもらい、製作します。価格は約10万円です。

携帯ストラップは、金銀糸を京くみひもの技法を用いて仕上げました。平唐、大和組、丸組の3種類があって、価格は約二千八百円に設定しました。

また本金箔を製造する過程でできあがる、ふるや紙（あぶらとり紙）と、それを入れるケースも企画しました。ケースには金銀糸を使った西陣織の生地で作成し、価格はふるや紙が2千円、カードケースが1万5千円です。

図案のデザイナーや刺繍技術を持つ職人は社内では確保しており、織物、組み紐などの技術に関しては、以前からのづくりの異業者交流で構築してきたネットワークを活用しました。



トップに金糸の刺繍を施したハンチング帽

金銀糸を使った西陣織で作ったパスポートケース

## モニター調査と展示会を経て販売を開始

新商品の開発にあたってターゲットに設定したのは、京都の伝統工芸品に魅力を感じる30～50歳代の男女です。まず金銀糸を用いた製品に対してどのような意見やニーズがあるのかを知るために、ターゲットと同じ世代の約15名の男女を集めて、モニター調査を東京で2度実施しました。その結果、「金銀糸をはじめ、織物やくみひも、刺繍などの伝統工芸、技法が、一般のほとんどの人々に知られていないことがわかりました」と寺島さんは語ります。ただ「金銀糸を使った素材が面白い」「京都らしくて良い」という声も数多く、手応えを感じました。

モニター調査の結果を踏まえてまず取り組んだのは、

金銀糸や寺島保太良商店を一般の人々に広く知ってもらうためのツールづくりです。歴史や業務内容を絵本のような体裁でわかりやすく説明した会社案内や、新製品を魅力的に紹介するパンフレットを制作しました。

次のステップは、京都府主催の「Cool Kyoto」と首都圏で開催される「東京インターナショナル」という2つの展示会への出店です。どちらも、バイヤーはもちろん、一般消費者の来場者も多い展示会です。「『いいね』と言ってもらえる商品は作れても、買ってもらえる商品を作るのは難しい」と実感した寺島さんですが、顧客の新規開拓を目指して平成25（2013）年の秋から、インターネットでの販売を開始しました。



新製品を出品した展示会のブース

## 金銀糸の可能性を他分野でさらに追求

現在、インターネットの3つのショッピングサイトに出品中です。ハンチング帽の注文はまだ数件ですが、バラエティ番組でふるや紙が紹介されたのをきっかけに、反響が増え始めました。「正倉院の時代から高貴な身分の方の装飾として使われてきた金銀糸。職人が丁寧に手作りするので、どうしても高額になりますが、宝物になるはず」と寺島さん。「本物の良さを伝えるには、ものにして見せていくことが大切だと気づきました。今後はジュエリーやインテリア雑貨の分野でも、金銀糸の可能性を追求する取り組みを始める予定です」。

### 事業概要

株式会社寺島保太良商店

http://www7.ocn.ne.jp/~terayasu/

代表：代表取締役 寺島 和雄

業種：金銀糸製造卸

創業：明治30年3月11日

住所：〒603-8246京都市北区紫野西泉堂町65番2

TEL：075-495-7111 FAX：075-495-7117